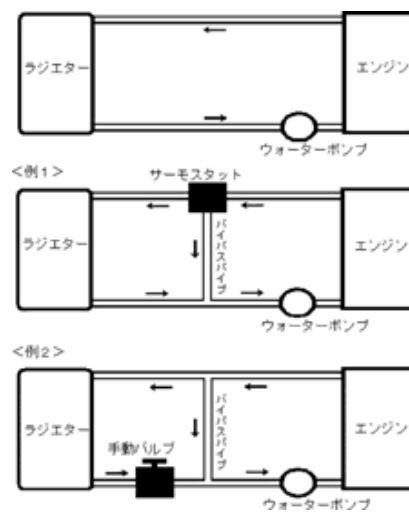


ールの中心線の後方) 最大55cmまでに位置しなければならない、シートと干渉してはならない。Superkartにおいて、後方に設置されるラジエターはカートの両側端から150mm以内に配置されてはならない。すべての配管は熱(150℃)と圧力(10バール)に耐えるよう設計された材質のものでなければならない。温度を調整するため、ラジエターの前面または後面への遮蔽システムの取り付けに限り許可される。この装置は可動式(調整可能)でも良いが、カートの走行中に取り出すことができなくてはならず、危険な要素が含まれていてはならない。メカニカルバイパスシステム(サーモスタットタイプ)は、バイパスラインを含め認められる。



#### 4. ウォーターポンプ

カテゴリーFC、FS-125、OK、OK-JuniorおよびSuperkartを除き、ウォーターポンプはエンジンから独立し、エンジンもしくはリアホイールアクスルにより機械的に制御されなくてはならない。

#### 5. キャブレター

一切の燃料噴射装置は禁止される。燃料以外の物質の噴霧は禁止される。

ギヤボックスを用いないすべてのカテゴリーについて、歯切りされたツマミによる手動機械式の調整装置を追加することは許される(キャブレターの公認取得が必要な場合、その変更は許されない)。

ステアリングホイールから手動で操作するバルブ、バタフライまたはスライドを、キャブレターと吸気消音器との接合部に加えることは許される。

OKおよびOK-Juniorのキャブレター：第8章を参照。